

薩摩おごじよ

夏を乗り越え、努力が実る秋にしよう！

新チームがスタートしてあっという間に1か月が過ぎました。新体制【主将：春田優月さん（生活科学科2年）、副主将：下窪莉子さん（生活科学科2年）】となり、これまでの鹿女子ソフト部の伝統を受け継ぎつつ、新しい鹿女子ソフト部の伝統を築きはじめたばかりです。今年の夏は記録的猛暑と言われていましたが、主将・副主将を中心に「練習のための練習」ではなく「試合につながる練習」を意識し、全員が「今何をすべきか」を考えながら夏休みの練習に取り組んできました。前チーム時にスタメンで試合に出場していた選手は2名しかいないので、新しいチームになり全部員に平等にチャンスが巡ってきました。1・2年生全員が仲間であると同時にライバルであり、一人ひとりの自覚と覚悟が求められています。この夏はポジションを固定することなく、一人2～3ポジションを守れるように練習試合でも取り組んできました。「このポジションは守ったことがないからわからない」ではなく、日々の練習時から他のポジションの動きを観察し、試合で急ぎよ守ることになって慌てることのないように、選手同士がコミュニケーションを密にとり意思疎通を図るようにしています。

まだまだ試行錯誤しながらですが、これまでお世話になった3年生に県新人大会（全国選抜予選）の結果で恩返しするためにも、これからの2か月が本当の勝負です。全部員が高い意識でソフトボールに向き合い、来るべき勝負の時に最高の結果をもたらす努力を期待します。

いつも使うからこそ感謝の気持ちをもって綺麗にしました！

夏休み最後の練習日、グラウンドにある部倉庫を大掃除しました。この部倉庫は設置されて20年以上使用しています。経年劣化もありたいぶ傷みもありますが、これまでの先輩方も大切に使用してきました。年に数回、部員全員で大掃除を行います。グラウンド横にありますのでどうしても土や砂が入りますので汚れてしまいます。それでもさすが鹿女子生です。古くなくても物を大切に使う伝統は健在です。隅々までしっかり整理整頓し、とても綺麗になりました。

新チームも始まったばかりですが、これからも毎日使用しますので丁寧にそして大切に使用していき、グラウンドで部員たちが一生懸命頑張っている姿を見守ってほしいと思います。



とても刺激を受けた部活動体験会！

今年度は夏休み以降4回にわたって部活動体験会を実施しました。全部で25名の参加があり、毎回とても活気に満ち溢れた体験会となりました。今回参加してくれた中学3年生はみんなとても意欲があり、練習でも自分のアピールポイントをしつかりと実戦で発揮していました。本校の部員にとっても、もしかしたら来年共に頑張っていく仲間になるかもしれない中学3年生のプレーを見て、とても良い刺激を受けていたように感じます。ここで得た刺激を忘れることなく、今後の練習に生かしてもらいたいと思います。



チームの課題を再確認しました！

この夏は当初予定していた奄美合宿が台風のため中止となり、夏休み最後の週末を利用して久留米遠征に行きました。南筑高校のグラウンドに福大若葉、福岡中央、長崎商業と各県を代表するチームと6試合行いました。普段の練習ではなかなか見えてこないチーム全体の課題と個人の課題が実際試合になると大事な場面ではっきりと見えてきました。練習で100回成功しても、試合での1回の成功にはかきません。緊迫した試合の場面でどれだけ力を発揮できるかが大切になってきます。1プレーにどれだけ気持ちで臨んでいるかの問題だと思います。試合に出れて当たり前という気持ちでプレーしているのであれば、成長はストップしてしまいます。2年生には試合に出たくても出れなかった昨年までの悔しい気持ちを思い出し、1年生には今のうちから先輩を追い越してレギュラーを掴もうという貪欲な姿勢が、チーム内の競争力を上げる源です。チームの目標である「日本一」を本気で目指す集団になりましょう！

